

2017年度「当社取締役会の実効性の分析・評価」結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値を向上させることを目的として、取締役会の実効性に関する分析・評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法

2017年度の分析・評価においては、以下の事項を内容とするアンケートをすべての取締役・監査役に配布し、回答を得ました（回答は無記名方式）。そのうえで回答の集計結果に基づき、当社取締役会は取締役会の実効性に関する分析・評価を行いました。またその結果を取締役に報告のうえ審議いたしました。

[アンケートの内容]

- (1) 取締役会の構成
- (2) 取締役会の運営
- (3) 取締役会の実効性（中長期的な経営戦略ほか）
- (4) 株主その他ステークホルダーとの関係
- (5) 適切なリスクテイクの支援
- (6) 取締役会による監督
- (7) 個人評価
- (8) 全体評価

2. 分析・評価結果の概要

今年度のアンケートの結果から、昨年度同様に取締役会の開催頻度や事前資料が適切であり、審議についても社外取締役および社外監査役も含めてオープンかつ活発に議論や意見交換がなされている、社外取締役および社外監査役は適時助言を行っており監視機能を適切に果たしている、など概ね肯定的な評価が得られており、取締役会全体の実効性については確保できていると評価いたしました。なお、昨年度に要改善事項として記載したうち、社外取締役の増員については1名から2名へ増員し、取締役の役割と責務についての知識習得機会の充実については勉強会等を実施いたしました。

一方で、主に以下の点につき取締役会で議論を重ね、さらなる改善を実施していくこととしました。

- (1) 中長期的な戦略立案に重きを置いた審議時間を確保する。
- (2) 適切なリスクテイクを支える環境整備を行う。

以 上